

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(2)	グループホームは地域密着型の介護サービスであるが、当ホームに於いてはまだまだ地域との交流、結びつきが希薄である。	当ホームの町内会参加、加入、また町内会よりの当ホームの運営推進会議への参加による相互交流。	ホーム長による町会役員、民生委員への訪問を定期的に行い、ご理解をいただく。	12ヶ月
2	(6)	利用者ご家族とホームとの関係は割合うまくいっているが、もう一步積極的なホーム運営への協力、参加をいただく為にホームからご家族への働きかけが必要である。	ホームとご家族間の連絡体制を作る。	ホームで新聞を作成、発行しご家族へ配信する等連携を密にし相互理解のうえで協力体制を築き上げる。	12ヶ月
3	(13)	火災、地震等災害時の非難救護体制の体制作りが急がれる。その際、地域、ご家族からの協力体制作りも重要な課題である。	定期的な避難訓練の実施。	5月、10月の消防避難訓練の実施の外、普段からの危機意識、安全管理意識の徹底をはかっていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。